

# 春日部市テニス協会 会員規則 関係

## 6. 大会管理規程 付則2 ドロー作成要領

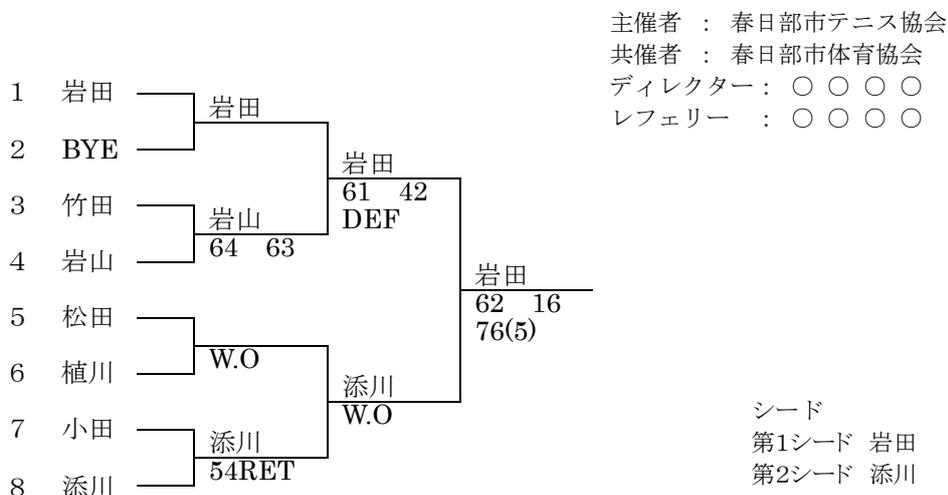
JTA 公式トーナメント競技規則に準じ、ドローを以下の要領で作成するものとする。

### 1. トーナメント方式

参加者数が4, 8, 16, 32, 64またはそれ以上の2の累乗のとき、プレーヤーは次の図解で示すパターンによって、トーナメント方式（勝ち上がり）で対戦し、結果は以下のように記す。ドローサイズによっては、それぞれ4, 8, 16, 32, 64,

124ドローシートを用いる。たとえば、48, 56, 96ドローなどには、それぞれ64, 128ドローシートを用いて、トーナメントを行う。

右図は8ドローを用いた場合の記載例である。



- \* RET (リタイア) : ケガ、病気などの理由で、試合を途中棄権した時。
- \* DEF (デフォルト) : 試合前、試合中にコード違反をし、失格した時。
- \* W.O (ウォークオーバー) : 相手選手の遅刻、出場辞退などで不戦勝になった時。
- \* Not Played (ノットプレイド) : 対戦する両選手が試合に現れなかった時。その際、勝者は空欄。
- \* No Show (ノーショウ) : 予選のサインや試合に、決められた時間に現れなかったことを意味し、ドロー表に結果として表記しなくてもよい。
- \* BYE (バイ) : 出場者が2の累乗で埋まらない場合、1回戦がない場合に使う。

### 2. ラウンドロビン方式

出場者が総当りに対戦する大会をラウンドロビン方式という。  
順位を以下の方法で決定する。

(1) 以下の算出方法により、勝率の高いチーム(者)を上位とする。

チーム戦の勝率 = 勝利した対戦チーム数 ÷ 総対戦チーム数

個人戦の勝率 = 勝利した試合数 ÷ 総試合数

(2) 2チーム(者)が同率の場合、お互いの対戦結果(直接対決)の勝者を上位とする。

(3) 3チーム(者)が同率の場合、以下の要素で順位を付ける。

① チーム戦では総勝利試合数の多いチームが上位となる。

② ①が同じ場合、全試合での取得セット率が高いチーム(者)が上位となる。

取得セット率 = 取得したセット合計数 ÷ 全試合のセット合計数

③ ②が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチーム（者）が上位となる。

取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数

(4) ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数は全て0とする。

(5) 怪我などによるリタイアの場合、勝者はリタイアの後残りのゲームを全て勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得した取得したゲーム数を記録する。

### 3. トーナメント方式とラウンドロビン方式の結合方式

やり方には以下の2方法がある。

(1) 初回戦のみをラウンドロビン方式で行い、以後はトーナメント方式に切り替える。

(2) 一定の回戦までトーナメント方式で行い、以後はラウンドロビン方式に切り替える。

### 4. 実力評価方法

(1) シングルのシード順位

出場選手選考に関する選手の実力評価は、選考時点における最新のランキング（別に定めるポイントランキング要領）に基づく。シード順位は、ドロー作成時点での最新のランキングに基づく。

(2) ダブルスのシード順位

ドロー作成時点でのペアの最新ランキングを合算した合計数でシードの順位を決める。

① ランキング+ランキング (タイの場合は上位者のいるペア)

② ランキング+ランキングなし (タイの場合は抽選)

### 5. シードの位置

シード1はドローシードの最上段ライン1、シード2は最下段（例、32ドローはライン32）その他のシードについては、表-1に示す方法でその位置を決めていく。表中の数字はそのシードが置かれるドローのライン番号を示す。

表-1 シード数とドローの位置

シード	シードの 決め方	ドロー数	16	32	64	128
		シード数	4	8	16	16
3	最初に引いた方	5	9	17	33	
4	次に引いた方	12	24	48	96	
5	最初に引いたシード		8	16	32	
6	2番目に引いたシード		16	32	64	
7	3番目に引いたシード		17	33	65	
8	4番目に引いたシード		25	49	97	
9	最初に引いたシード			9	17	
10	2番目に引いたシード			25	49	
11	3番目に引いたシード			40	80	
12	4番目に引いたシード			56	112	
13	最初に引いたシード			8	16	
14	2番目に引いたシード			24	48	
15	3番目に引いたシード			41	81	
16	4番目に引いたシード			57	113	

### 6. シードの数

トーナメントにおけるシードの数は、ドロー数の4分の1を基本とし、下記のシード数を基準とする。

シード数	ドロー数	摘 要
2シード	8ドロー	出場選手数が8~11人
4シード	16ドロー	出場選手数が12~23人
8シード	32ドロー	出場選手数が24~47人

### 7. ドロー作成の期日

ドローの作成は大会開催日の2週間前までに作成し、当協会 Web に公開することを原則とする。

#### 8. ドロー作成の手順

シードを抽選し、欠員（不戦勝）で **BYE** が必要であれば、シードの高い順に **BYE** の位置を決める。残りのプレーヤーは、シードおよび **BYE** 以外の場所に、ドローシードの上から順に抽選する。

#### 9. ダブルス

##### (1) エントリーの失格

1つのペアが、1つのダブルスのエントリーを構成する。ペアのいずれかのプレーヤーがプレーできない時は、そのダブルスのエントリーは失格となる。

##### (2) シード

ドローの作成時点の最新のダブルスランキングに基づく。

#### 10. ドローの誤り

ドローが作成され、トーナメントが開始されるまでに、そのドローに誤りが発見された場合は、直ちにドローを作り直さなければならない。トーナメントが開始された後で発見された場合は、誤ったままのドローでトーナメントを続ける。